

保護者の皆様へ

# 保存版です

大阪市立池島小学校長 小山 勝一

## 登下校時の雷等への対応について（お願い）

平素は、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

先日、屋外でのサッカー活動中における落雷事故の報道がありました。また近年、突然の雷や突風、激しい雨等、気象の変動が大きく、改めて子どもたちの登下校中における落雷等による事故の未然防止のための安全対策を講じる必要があります。

そこで、登下校時の雷等への対応を、今後下記のように進めてまいりますので、ご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願ひいたします。

### 記

#### 1. 「落雷の心配がある場合」とは

- ①大阪市に「雷注意報」が発令されており、かつ、
- ②黒雲、突風や気温の低下、激しい雨があり、雷鳴が認められる場合、とします。

#### 2. その場合の登校は

- 原則として各ご家庭の判断で、自宅待機をお願いします。
- 学校から対応についての連絡がある場合は、その指示に従ってください。  
(学校ホームページとミマモルメで連絡します。)
- 登校が午前8時30分を過ぎるときは、学校まで連絡してください。
- 安全第一の対応ですから、登校が遅れても遅刻扱いとはいたしません。

#### 3. 下校時間帯の対応は

- 気象状況等を確認したうえで、学校から対応についての連絡をいたしますので、その指示に従ってください。  
(学校ホームページとミマモルメで連絡します。)

#### 4. その他

- 子どもたちの在校時間中に落雷の心配がある場合は、ただちに屋外での活動を中止し、校舎内に避難させます。
- 学校から離れて活動中の場合、「落雷の心配がある場合」は屋外での活動を中止し、屋内の活動に切り替えます。

※台風発生時を含め、上記のような気象に対する緊急連絡が学校から発出される可能性が高い状況の時は、学校ホームページやミマモルメの確認をお願いいたします。

～改めて安全第一を最優先し、これまで本校で取り組んできた地区班での集団下校や、保護者の皆様への引き渡し訓練等を活かしてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。～

→裏面に落雷事故防止に関する資料を掲載しましたので、ご参照ください。

## 資料

群馬県教育委員会事務局「学校災害対応マニュアル」より

落雷による事故は、生命に危機を及ぼす重大な事故になりやすいが、適切な判断により事故を防ぐことが可能であることから、屋外での活動中において、天候が急変しそうな予兆がある場合には、気象に関する情報を収集するとともに、早めに中断し避難等の対応を行うことが重要となります。

### 【予想される天候状況】

- ① 「雷注意報」の発令。 ② 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- ③ 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。 ④ ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- ⑤ 大粒の雨や雹（ひょう）が降り出す。 ⑥ 近くに雷が落ちる。

### 【対応】

- ① 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりした場合は速やかに屋内に避難する。  
(雷鳴が遠くても、雷雲はすぐ近づいてくる。また、雨が降っていなくても落雷はある。)
- ② 校庭やプールでの活動、平地でのハイキング等、近くに高いものがない場所での活動の場合は特に注意し、速やかに活動を中止し、屋内に避難する。
- ③ 雷の活動は短時間でおさまることが多いので、無理に登下校、帰宅等をせず、屋内に避難・待機する。
- ④ 自転車に乗っていたら、すぐに降りて安全な場所に移動する。

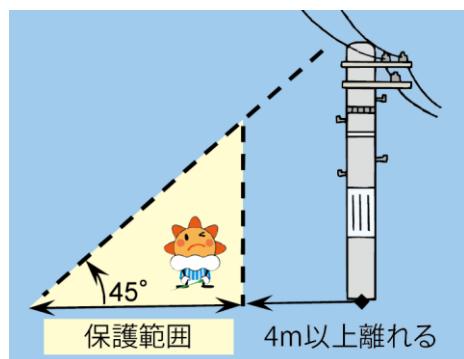
### 【避難場所等に関する留意点】

- ① 建物の中、自動車、バス、列車の中等への素早い避難が求められる。
- ② 軒先や外壁は、雷の通り道になること等に注意する。
- ③ 雷は高い場所に落ちやすい。立ち木に落ちると被害を受けるので、立ち木から離れたところに避難する。
- ④ 近くに避難する場所がない場合は、しゃがみ込む等できるだけ姿勢を低くする。

### ※《安全な空間に避難できない場合の対応》

近くに安全な空間がない場合は、電柱、煙突、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から4m以上離れたところ（保護範囲）に避難します。

高い木の近くは危険ですから、最低でも木の全ての幹、枝、葉から2m以上は離れてください。姿勢を低くして、持ち物は体より高く突き出さないようにします。  
雷の活動が止み、20分以上経過してから安全な空間へ移動します。



《気象庁-雷から身を守るには-より》

### 【雷の活動が止んだら…】

- ① 雷鳴が止んでから20分程度は落雷の危険があることから、安全な場所で待機する。
- ② 一つの雷雲が去っても、次の雷雲が近づく場合もあるので、新しい雷雲の接近に常に注意する。
- ③ その後は、気象情報等で安全を確認の上、活動を再開するかどうかの判断をする。